R5A-55series（Windows 8.1）

ユーザーズガイド（取扱説明書）

◀画面で読むマニュアル▶

名称と機能

各機能のON/OFF

使用する

トラブルの対応

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書（ユーザーズガイド）では、本機を使うための説明を掲載しています。
本書はあらかじめ印刷して保管しておくことをお勧めいたします。
別冊のセットアップガイドでは、梱包箱を開けてから、必要な機器を接続してWindows のセットアップを終了するまでの手順を説明しています。
本機を正しくお使いいただくためにも、必ずセットアップガイドからお読みください。

ONKYO®

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および、物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	機能の詳細を別のページやWebサイトで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

名称と機能

各部の名称と機能

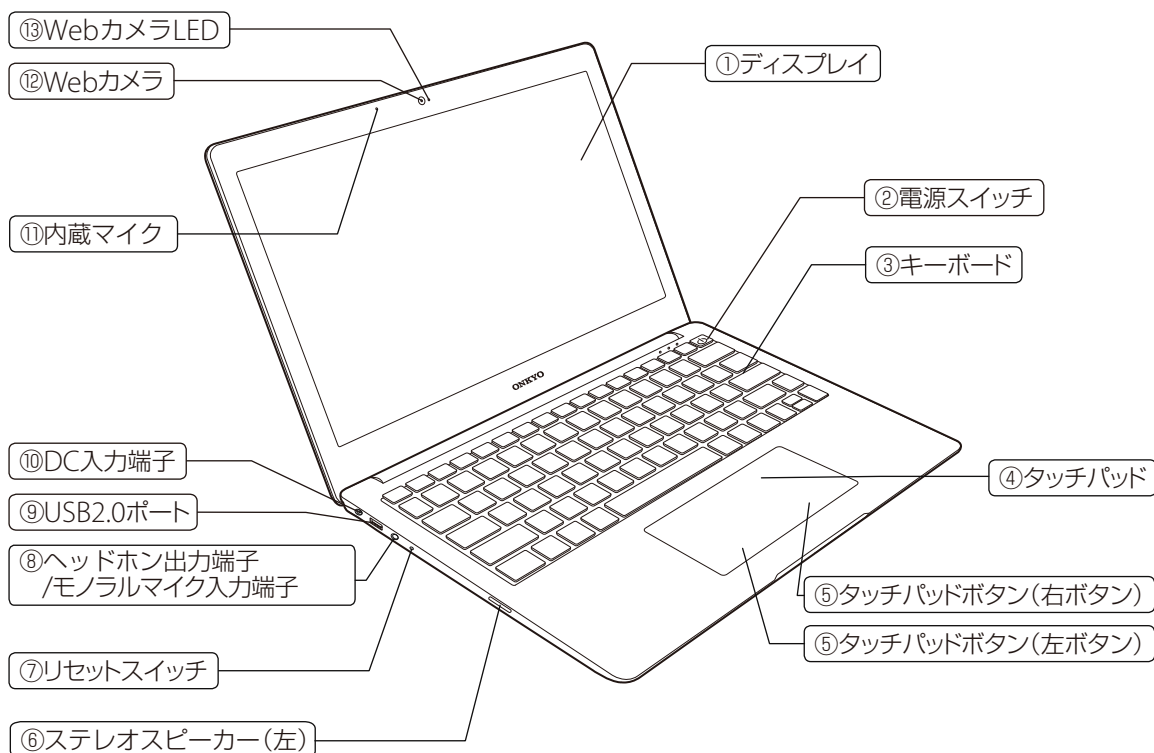
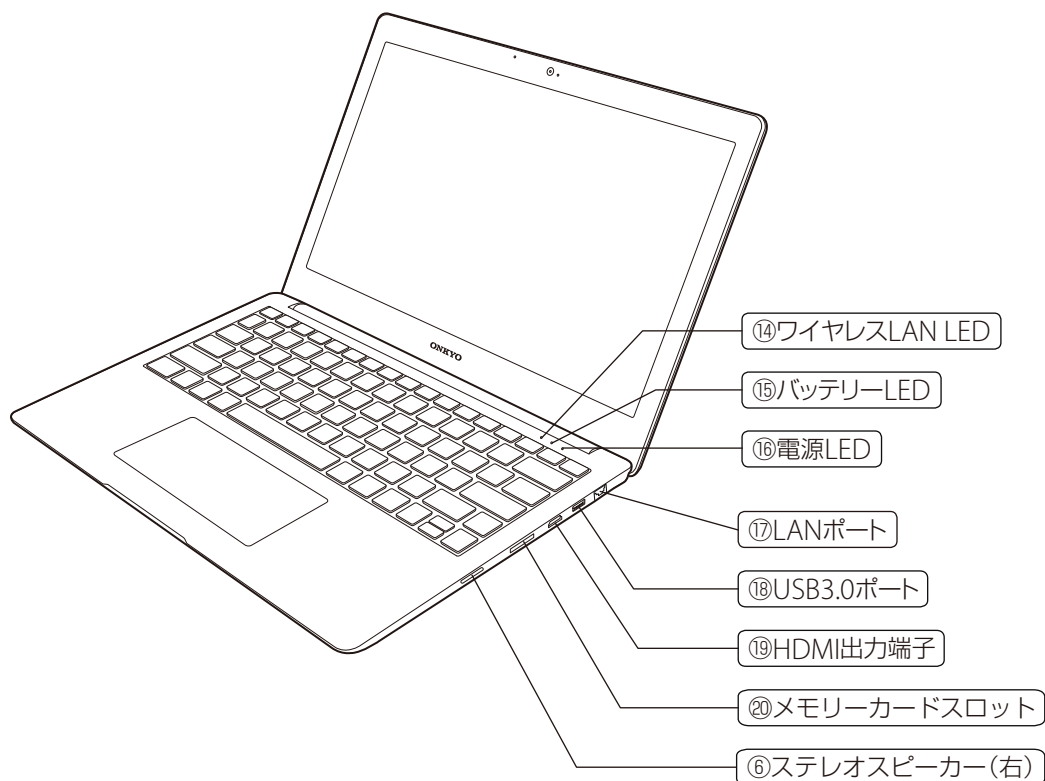
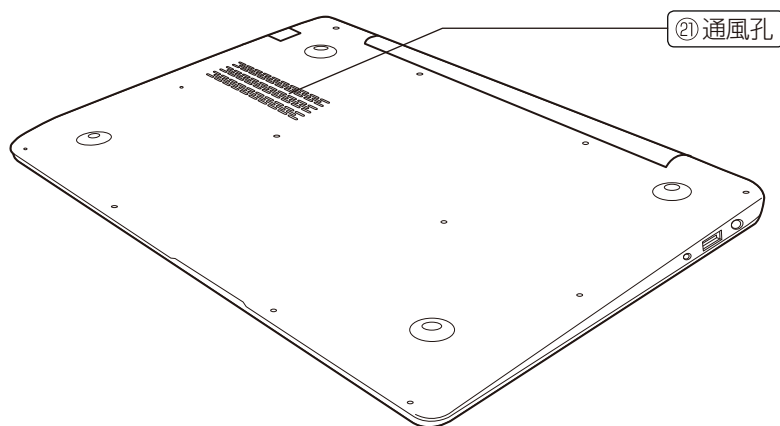
本体各部の名前とその機能について説明しています。
各部の詳細な説明、および周辺機器との接続方法については、別のページで詳しく説明している部分もありますので、あわせてお読みください。

製品の詳しい仕様およびその他の情報は、当社Webサイトからご参照いただけます。
☞ http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec_search.aspx
※製品の型番は本体底面に貼り付けられている型番ラベルを確認してください。

まえ/ひだり

⑬WebカメラLED
⑫Webカメラ
⑪内蔵マイク
⑩DC入力端子
⑨USB2.0ポート
⑧ヘッドホン出力端子/モノラルマイク入力端子
⑦リセットスイッチ
⑥ステレオスピーカー(左)
①ディスプレイ
②電源スイッチ
③キーボード
④タッチパッド
⑤タッチパッドボタン(右ボタン)
⑤タッチパッドボタン(左ボタン)

まえ/みぎ

⑭ワイヤレスLAN LED
⑮バッテリーLED
⑯電源LED
⑰LANポート
⑱USB3.0ポート
⑲HDMI出力端子
⑳メモリーカードスロット
⑥ステレオスピーカー（右）

した

① ディスプレイ
文字や図形、動画などを表示します。

② 電源スイッチ
本機の電源をONします。
本機の出荷時設定は、電源ON時に電源スイッチに触れても「何もしない」ようになっています。
（電源スイッチを押したときの動作設定は、Windowsの機能で変更することが可能です。）

電源をOFFにする方法は ☞「電源のON/OFF」を参照してください。

・電源をシャットダウンしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

③ キーボード
キーを押して文字を入力したり、コマンド（命令）を送ったりします。

④ タッチパッド
指を軽くのせて動かすと、ディスプレイ上のマウスポインターが移動します。

⑤ タッチパッドボタン（右ボタン・左ボタン）
それぞれ、マウスの右ボタン、左ボタンに対応しています。

⑥ ステレオスピーカー
Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が出力されます。

音量はキーボードを使って操作できます。Fnを押しながらF7キーを押すことで音量を下げることができます。Fnを押しながらF8キーを押すことで音量を上げることができます。

⑦ リセットスイッチ
強制的に電源をOFFにします。故障の原因になる場合がありますのでやむを得ない場合以外は使用しないでください。

⑧ ヘッドホン端子/モノラルマイク入力端子
ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンとマイクが一体になった4極ミニプラグのマイク付きヘッドセットも使用できます。

・4 極ミニプラグのマイク付きヘッドセットはCTIA とOMTPという2 種類の規格があります。
　本製品はCTIA準拠です。OMTP準拠のヘッドセットは使用できません。
・一般的に市販されているマイク機能のみを持ったマイクロフォンは使用できません。

⑨ USB2.0ポート
USB機器を接続します。データ転送速度はUSB2.0 準拠です。

⑩ DC入力端子
付属のACアダプターを接続します。

・付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。
・ACアダプターの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターが発熱し、火災を起こす恐れがあります。

⑪ 内蔵マイク
本機に音声を入力します。

⑫ Webカメラ
静止画や動画を撮影できるカメラです。

⑬ WebカメラLED
Webカメラの機能が動作中に点灯します。

⑭ ワイヤレスLAN LED（ ）
ワイヤレスLANの機能が動作中に点灯します。

⑮ バッテリーLED（ ）
バッテリーの充電状態を表示します。

⑯ 電源LED（ ）
電源の状態を表示します。
点灯（白）: 本機の電源がONの状態です。
点滅（白）: 本機がスリープの状態です。本機の電源がONの状態で、ディスプレイを閉じると、スリープの状態になります。

⑰ LANポート
LANケーブルを接続します。

電話用のモジュラーケーブルは接続できません。

⑱ USB3.0ポート
USB機器を接続します。データ転送速度はUSB3.0準拠です。

⑲ HDMI出力端子
HDMI端子付きの外部ディスプレイやテレビを接続します。

⑳ メモリーカードスロット

以下のメモリーカードを差し込みます。

・SDメモリーカード　・SDHCメモリーカード

・MMC

・メモリーカードにはそれぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
・「miniSDカード」または「microSDカード」など、一覧に記載のない種類のカードは、本機に直接挿し込むことはできません。メモリーカードを本機に挿し込む前に、種類を確認してください。

㉑ 通風孔

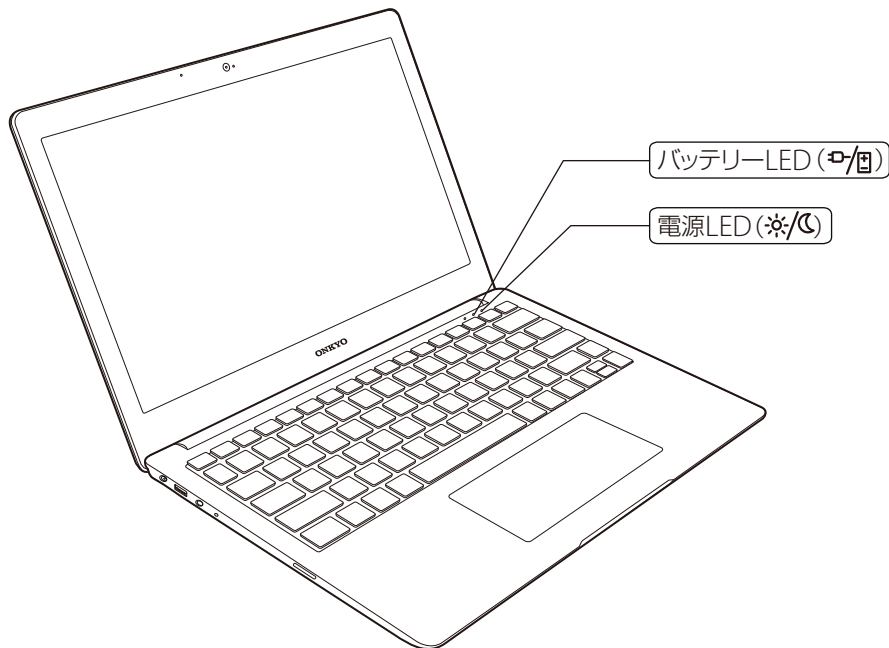
パソコン内部の熱を冷却する風を通します。毛布などで完全に塞がないでください。

注意

パソコンを設置する場合、下記の点を守ってください。パソコンの通風孔が塞がれ、故障や発熱の原因となります。

- **机などのパソコンを設置する面に、パソコン底面にある足のすべてが接地するように設置してください。**
- **毛布などの形状が変形するものの上に、パソコンを設置しないでください。**

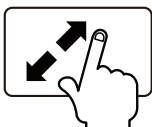
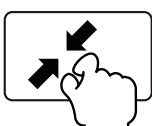
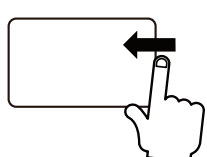
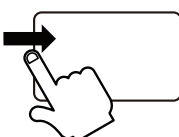
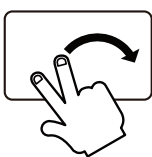
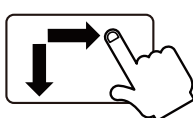
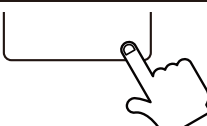
バッテリーの状態の確認

本機のバッテリーの状態は、バッテリーLEDで確認できます。

いったん満充電になったバッテリーは、残量が98%以下にならないと、充電が始まりません。

バッテリーLED（ / ）の表示とバッテリーの状態

状　態	内　容
点灯（オレンジ）	バッテリーは充電中の状態です。
点灯（白）	バッテリーは充電済みです。
点滅（オレンジ）	15秒間点滅・・・バッテリーが9%～4%の状態です。 4秒間点滅・・・・バッテリーが4%～0%の状態です。
消灯	バッテリーは充電されていません。

電源LED（ / ）の表示

状　態	内　容
点灯（白）	起動中です。
点滅	スリープ状態です。
消灯	電源OFF/休止状態です。

バッテリーの残量が少ない状態でアプリケーションソフトの操作を続けると、データやプログラムファイルが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。
バッテリーの残量がすべて無くなると、アプリケーションソフトの使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの低残量を知らせる警告が出たらすぐにデータを保存してください。

基本的な操作方法

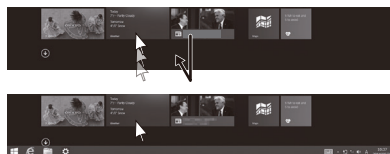
タッチパッドの機能について

本機の液晶パネルはタッチパネル非搭載ですが、キーボード手前のタッチパッドにて以下のような操作が可能です。

図	操作方法	機能
	2本の指でタッチパッドをタッチし、指を互いに遠ざけます。(ストレッチ)	画面表示を拡大します。
	2本の指でタッチパッドをタッチし、指を互いに近づけます。(ピンチ)	画面表示を縮小します。
	タッチパッドの右横をタッチし、左方向に払うように指を動かします。(スワイプ)	「チャームバー」を表示します。
	タッチパッドの左横をタッチし、右方向に払うように指を動かします。(スワイプ)	複数のアプリケーションを起動している際、表示するアプリケーションを切り替えます。 同時に起動している複数のアプリケーションを一覧表示するには、マウスポインタを画面左上隅に移動し、そのまま下にスライドします。
	1本の指をタッチパッドをタッチした状態で固定し、もう1本の指でタッチパッドを右回りまたは左回りにスライドします。(回転)	画像ファイルやPDFファイルなどの表示を回転させます。
	タッチパッド上に指を置いたままドラッグ(スライド)します。(スクロール)	画面の表示内容が移動します。
	タッチパッドの左下を押します。(クリック、左クリック)	項目を開いたり選んだりします。マウスでクリックすることと同じです。
	タッチパッドの右下を押します。(右クリック)	項目の詳細情報が表示されるか、状況に応じてメニューが開きます。マウスで右クリックすることと同じです。

「モダンUI画面」にタスクバーを表示する方法

「モダンUI画面」では以下の手順で、「タスクバー」を表示することができます。

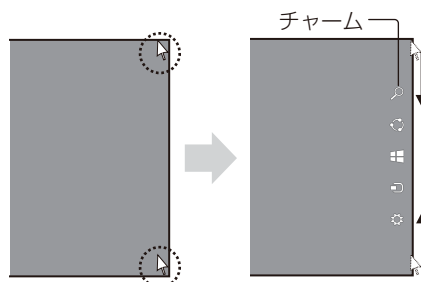
1. **画面下へマウスポインタを移動させます。**

画面下側にタスクバーが現れます。

・画面下からマウスポインタを遠ざけるとタスクバーが消えます。
・「デスクトップ画面」では、タスクバーは常時表示されています。

チャームバーの表示方法

以下の手順で、「チャームバー」を表示することができます。

1. **マウスポインタを画面右上隅、もしくは右下隅に移動します。**

2. **画面右側に「チャーム」が表示されたら、端に沿って（マウスポインタを）上または下に移動します。**

チャームバー

画面右側にチャームバーが表示されます。

「デスクトップ画面」と「モダンUI画面」の切り替え

以下の手順で、「デスクトップ画面」と「モダンUI画面」との切り替えができます。

■ 「デスクトップ画面」から「モダンUI画面」への切り替え

キーボードにある マーク（Windowsキー）を押して切り替えます。

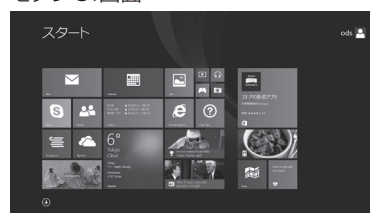
タスクバー左下にある マーク（Windowsマーク）のクリックや、チャームバーの中にある スタートマークのクリックでも切り替えができます。

Windowsキー

デスクトップ画面

スタートマーク

Windowsマーク

モダンUI画面

■ 「モダンUI画面」から「デスクトップ画面」への切り替え

キーボードにある マークを押して切り替えます。

または、「モダンUI画面」のデスクトップタイル、画面左下にあるタスクバーの マーク、チャームバーの中のスタートマークのクリックでも切り替えができます。

Windowsキー

スタートマーク

デスクトップタイル

Windowsマーク

アプリケーションソフト一覧を表示させる方法

以下の手順でアプリケーションソフト（アプリ）の一覧を表示させることができます。

1. **「モダンUI画面」に切り替えます。**

2. **画面上の任意の場所にマウスポインタを置き、画面左にドラッグさせせます。**

画面の左下に マークが現れます。

3. **画面左下の マークをクリックします。**

4. **すべてのアプリ一覧が表示されます。**

「モダンUI画面」にタイルが表示されるアプリは、**ストアアプリ**と呼ばれます。
ストアアプリ以外のアプリは、**デスクトップアプリ**と呼ばれます。

キーボードの を押すと「スタート画面」に戻ります。

機能管理メニューを表示させる方法

以下の手順で、「デスクトップ画面」に機能管理メニューを表示させることができます。

1. **「デスクトップ画面」左下にある マークを右クリックします。**

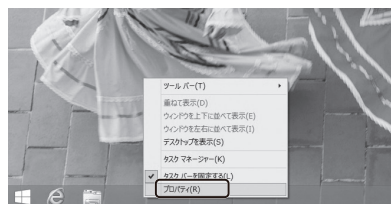
2. **機能管理メニューが表示されます。**

機能を選んでクリックし、設定などにすすみます。

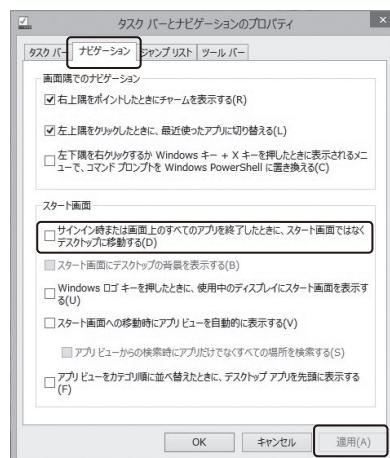
起動した時に「モダンUI画面」を表示させる方法

以下の手順で、起動時に「モダンUI画面」を表示させることができます。
（出荷時はデスクトップ画面に設定されています。）

1. **画面下にあるタスクバーを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**

【タスクバーとナビゲーションプロパティ】ダイアログが表示されます。

2. **「ナビゲーション」タブをクリックします。**

3. **［スタート画面］の右図の場所のチェックをはずし、［適用」→［OK］ をクリックします。**

・出荷時設定ではチェックが入っています。
・起動時に「デスクトップ画面」を表示させるにはチェックを入れます。

各機能のON/OFF

電源のON/OFF

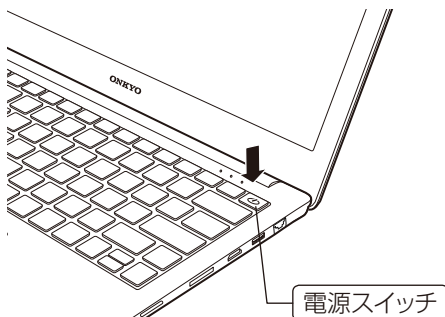
電源をON/OFFする方法を説明します。
電源をOFFにするときは、作業状況に応じて複数の終了方法が選択できます。

電源のON

本機の電源をONにします。Windowsのセットアップ（☞別冊のセットアップガイド）が終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows 8.1のデスクトップ画面が表示されます。

1. 電源スイッチを押します。

しばらくすると、Windows 8.1のデスクトップ画面が表示されます。
※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

・ロック画面が表示されたら、タッチパッドをクリックしてください。
・ユーザーアカウントにパスワードを設定している場合は、ログオン画面が表示されます。パスワードを入力して、→ をクリックします。

電源のOFF

電源をOFFにするには、「シャットダウン」をおこないます。また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」や「スリープ」なども選択できます。

■ シャットダウン

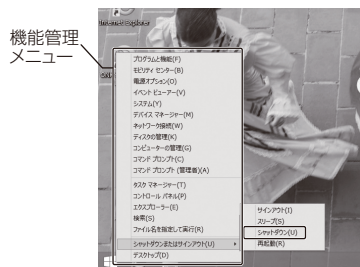
すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. 「デスクトップ画面」左下にある ⊞ マークを右クリックします。

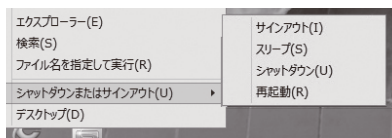
機能管理メニューが表示されます。

2. 「シャットダウンまたはサインアウト」→「シャットダウン」をクリックします。

機能管理メニュー

本機の電源が完全にOFFになります。
次回、電源をONにするときは、電源スイッチを押します。

チャームバーの中にある「設定」→「電源」→「シャットダウン」からも選択できます。

■ その他の終了方法

シャットダウン以外の終了方法も選択できます。

電源ボタンの長押しやリセットボタンでも強制的に電源を OFFにできますが、故障の原因になる場合がありますのでやむを得ない場合以外は使用しないでください。

ワイヤレスLAN、Bluetooth機能のON/OFF

ワイヤレスLAN、Bluetoothの機能のON/OFFは、キーボードの Fn キーとファンクションキーの組み合わせで切り替えを行います。

ワイヤレスLANのON/OFF

初期状態はON になっています。
Fn ＋ F2 キーを押すとON/OFFが切り替わります。
ONの状態では、ワイヤレスLAN LED が点灯します。

Bluetooth のON/OFF

初期状態はON になっています。
Fn ＋ F10 キーを押すとON/OFFが切り替わります。
ONの状態では、通知領域（画面下にあるタスクバーの右側 ）に Bluetooth アイコンが表示されます。

飛行機の中など電波の使用が制限されている場所では、指示に従って必ずワイヤレスLANやBluetooth機能をOFFにしてください。

内蔵マイクのON/OFF

初期状態はONになっています。
マイク付きヘッドセットを使用する場合は、内蔵マイクをOFFにすることをお勧めします。

内蔵マイクをOFFにする方法

通知領域（画面下にあるタスクバーの右側）の の中にある「Realtek HDオーディオマネージャ」を起動し、「デバイス詳細設定」→「すべての入力ジャックを独立した入力デバイスとして分離します。」を選択します。

内蔵マイクをONにする方法

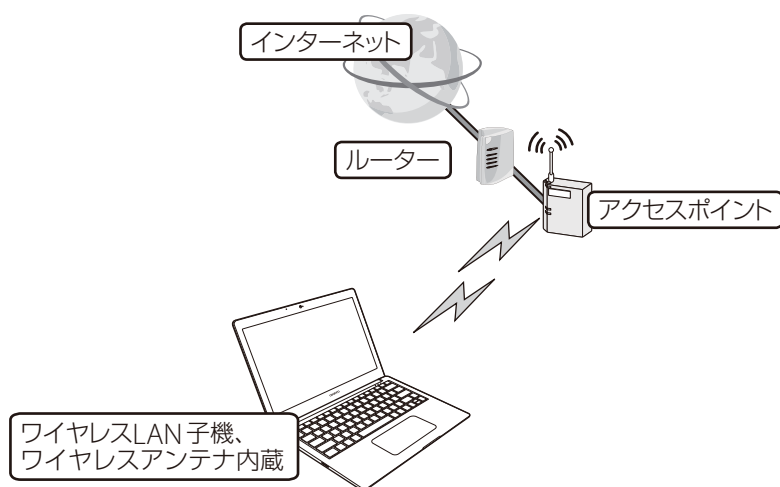
通知領域（画面下にあるタスクバーの右側）の の中にある「Realtek HDオーディオマネージャ」を起動し、「デバイス詳細設定」→「同型の入力ジャック、つまりライン入力またはマイクを1つの入力デバイスとして統合します。」を選択します。

使用する

ワイヤレスLANの使用

ワイヤレスLANの機能と設定方法を説明します。

ワイヤレスLANとは

ワイヤレスLANとは、LANケーブルを使わないで、無線通信でデータをやり取りするLANのことです。「アクセスポイント」と呼ばれる中継機器や市販のワイヤレスLAN 親機を介して、ワイヤレスで構内ネットワークやインターネットに接続できます。

セキュリティーに関するご注意

ワイヤレスLANでは、電波で情報のやり取りをおこなうため、セキュリティーに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。
・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

■ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次のような行為をされてしまう可能性があります。
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

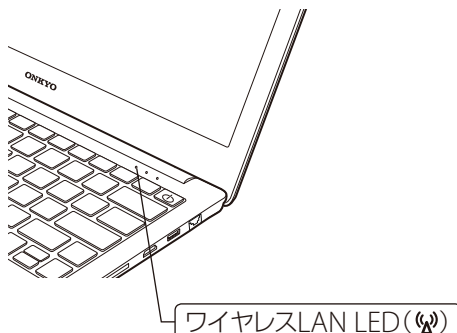
セキュリティーの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定をおこない、ワイヤレスLANを使用してください。

ワイヤレスLANの設定

■ 自動認識での設定

1. **ワイヤレス LANの機能をONにします。**

☞「各機能の ON/OFF」のページをご参照ください。

ワイヤレスLANの機能が働くと、ワイヤレスLAN LED（(ᴬ)）が点灯します。

2. **通知領域（画面下のタスクバー右側）に表示された アイコンをクリックします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

3. **ネットワークの一覧から、使用するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、[接続] ボタンをクリックします。**

セキュリティキーが設定されている場合、キーの入力画面が表示されます。

・セキュリティキーが設定されていないアクセスポイントは、そのままワイヤレスLANに接続されます。
・一覧に接続可能なネットワーク（アクセスポイント）が表示されない場合は をクリックします。

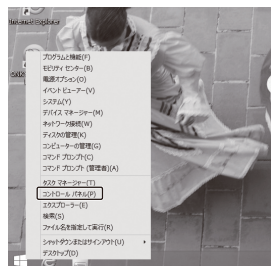
4. **「セキュリティキー」を入力して、[次へ] ボタンをクリックします。**

本機がワイヤレスLANに接続されます。

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

■ 手動での設定

1. **画面下のタスクバー左にある マークを右クリックして表示される機能管理メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。**

・チャームバーの中にある「設定」→「コントロールパネル」からも選択できます。

2. **「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」をクリックします。**

【ネットワークと共有センター】ウィンドウが表示されます。

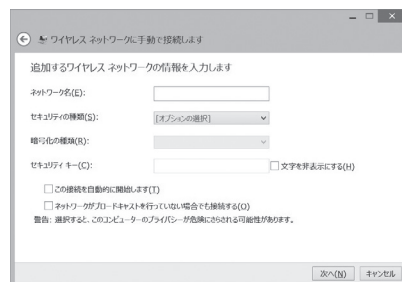
3. **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。**

【接続またはネットワークのセットアップ】ダイアログが表示されます。

4. **「接続オプションを選択します」の一覧から「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】ウィンドウが表示されます。

5. **接続したいアクセスポイントの「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」をそれぞれ入力して、[次へ] ボタンをクリックします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

6. **「自動認識での設定」の手順3～4 を実行します。**

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

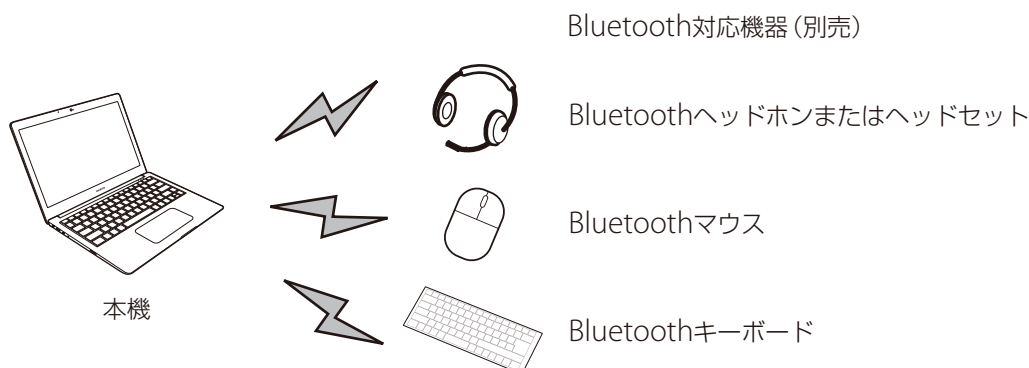
名称と機能
各機能のON／OFF
使用する
トラブルの対応

Bluetoothの使用

Bluetoothの機能と設定方法を説明します。

Bluetoothとは

Bluetooth機能を使うと、Bluetoothに対応するパソコンやタブレットと、ヘッドホン、キーボードなどの製品間で、ケーブルを使わず直接音声やデータの交換ができます。Bluetoothは、2.4GHzの帯域で動作し、半径10～100メートル程度の比較的狭い範囲で通信します。本機のBluetooth機能は、半径10メートル程度の範囲で使用します。
Bluetooth機能は、相手機器とのペアリングをおこなったうえで使用します。

・Bluetooth対応機器は、市販のものをお買い求めください。
・ヘッドホンやキーボードなど、Bluetooth対応機器の操作方法は、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

Bluetoothの設定

Bluetoothの接続方法は、次のとおりです。ここでは例として、別売のBluetooth対応キーボードとの接続を例にとって説明します。

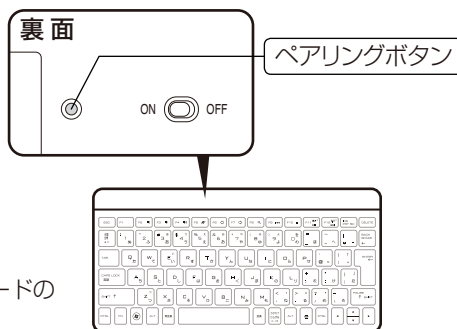
■ ペアリングを設定する

Bluetooth対応の機器同士が接続できる状態にすることを、「ペアリング」と呼びます。一度ペアリングした機器は、再度ペアリングの設定をする必要はありません。
ここでは、ペアリングの設定方法を説明します。

1. **Bluetooth機能をONにします。**
☞「各機能のON/OFF」のページをご参照ください。

2. **Bluetooth機器にあるペアリングボタンを押します。**

キーボードがペアリングモードになります。

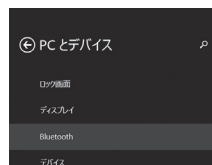
ペアリングモードになると、キーボードの〝ペアリングLED〟が点滅します。

※イラストは、Bluetoothキーボードの例です。

3. **通知領域（画面下のタスクバー右側）に表示されているをクリックして、表示されるメニューから「Bluetoothデバイスの追加」をクリックします。**

「Bluetoothデバイスの管理」画面が表示されます。

・通知領域にが表示されていない場合は、をクリックすると表示されます。

4. **追加するデバイス（Bluetooth機器名）を選択し、[ペアリング]ボタンをクリックします。**

デバイスのパスキー（パスワード、PINコードなどとも呼ばれます。）の入力を求められたら、入力します。

Bluetoothキーボードを接続する際、画面にペアリングコードが表示されたら、接続するキーボードを使用してペアリングコードを入力してください。

これで設定は完了です。

ペアリングをおこなった後でも、起動、再起動、スリープからの復帰後などはBluetooth機器の再認識に10秒程度の時間がかかります。再認識されるまで待ってから、機器を操作してください。

■ Bluetoothの接続をOFFにする

Bluetoothの接続を切断する方法は、次のとおりです。

1. キーボードの Fn ＋ F10 キーを押し、OFFにします。

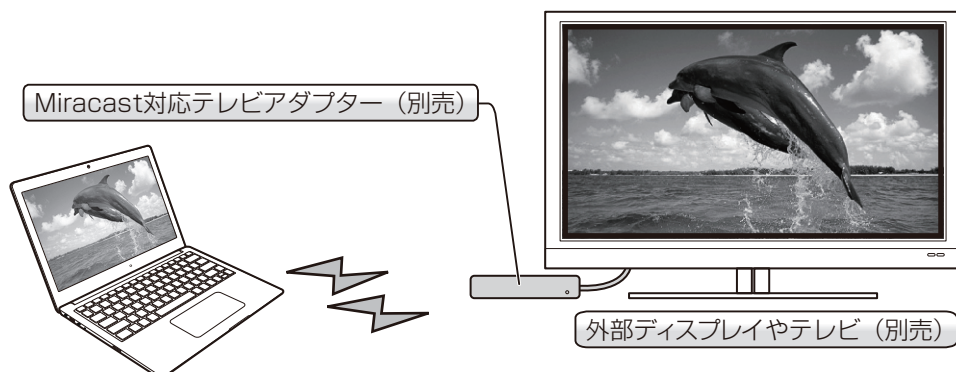
Bluetoothを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。

Bluetoothを使わないときは、Bluetoothの機能をOFFにしてください。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

Miracastの使用

Miracast（ミラキャスト）とは、本機のディスプレイに表示されている内容を、Miracast対応テレビアダプター（別売）を通じて、ワイヤレスで外部ディスプレイやテレビに表示する機能です。

Miracastを使用するには

本機とMiracast対応テレビアダプターの間は、直接ワイヤレスで通信されます。

1. 「Miracast対応アダプター」（以下アダプター）と外部ディスプレイを接続し、両方の電源をONにします。

2. 本機のチャームバーを開き、「設定」→「PC設定の変更」をクリックします。

3. 「PCとデバイス」→「デバイス」→「デバイスを追加する」をクリックします。

4. 1.で準備したアダプター名が表示されますので、クリックします。接続処理がおこなわれます。

接続直後はクローンモード（複製）となっています。チャームバーを開き、「デバイス」→「表示」をタップすると、接続モードの切り替え/接続/切断処理ができます。

本機のディスプレイ表示と、外部ディスプレイやテレビの表示には、わずかな時間差が発生します。これは、ワイヤレス通信を介した映像表示に時間がかかるためで不具合ではありません。

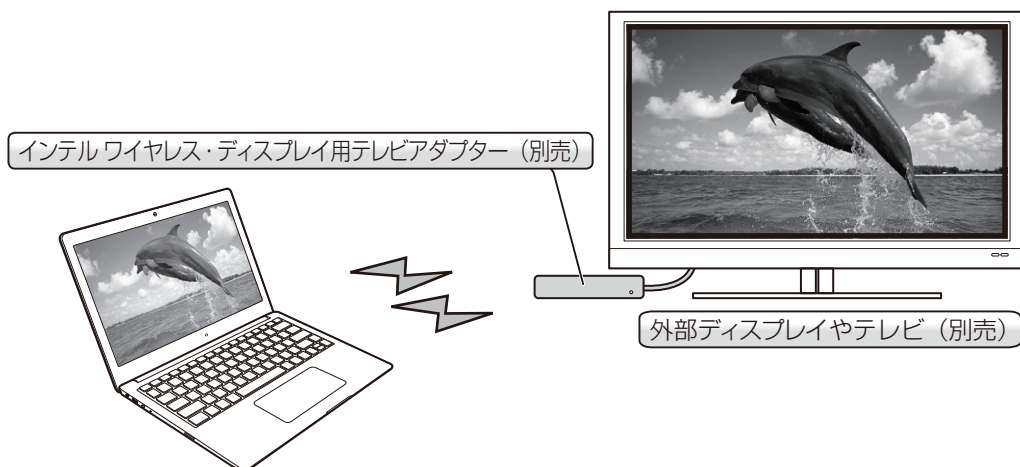
お使いになるうえでの注意

・保護されたコンテンツの映像および音声の再生に対応しているアダプターをご用意ください。なお、本機のミラキャスト機能は、すべてのアダプターとの通信を保証するものではありません。
・アダプターと再生ディスプレイとの接続にはHDMI接続が必須の場合があります。（別途ご用意いただくアダプターの仕様に準じます）
・解像度の低いパソコン用ディスプレイ、テレビでは再生できないことがあります。

Intel WiDiの使用

Intel WiDiとは、本機のディスプレイに表示されている内容を、インテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプター（別売）を通じて外部ディスプレイやテレビに表示する機能です。

Intel WiDiを使用するには

本機とインテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプターの間はワイヤレスで通信されます。

1. **「インテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプター」（以下アダプター）と外部ディスプレイを接続し、両方の電源をONにします。**

2. **チャームバーを開き、「設定」→「PC設定の変更」をクリックします。**

3. **「デバイス」→「デバイスを追加する」をクリックします。**

4. **接続したアダプター名が表示されますので、接続処理をおこないます。**

5. **外部ディスプレイに、セキュリティコードが表示されますので、画面の指示に従って設定をおこないます。**

表示はクローンモード（複製）です。「Intel WiDi Wedget」に対応しているアダプターであれば付属のソフトウェアで表示を切り替えできます。

・本機のディスプレイ表示と、外部ディスプレイやテレビの表示には、わずかな時間差が発生します。これは、ワイヤレス通信を介した映像表示に時間がかかるためで不具合ではありません。
・本機は保護されたコンテンツ（DVD-Video、地デジ番組を録画したCPRMディスク）の映像および音声の再生に対応しております。

お使いになる上での注意

・保護されたコンテンツの映像および音声の再生に対応しているアダプターをご用意ください。なお、本機のWiDi機能は、すべてのアダプターとの通信を保証するものではありません。
・アダプターと再生ディスプレイとの接続にはHDMI接続が必須の場合があります。（別途ご用意いただくアダプターの仕様に準じます）
・解像度の低いパソコン用ディスプレイ、テレビでは再生できないことがあります。

USB対応機器の使用

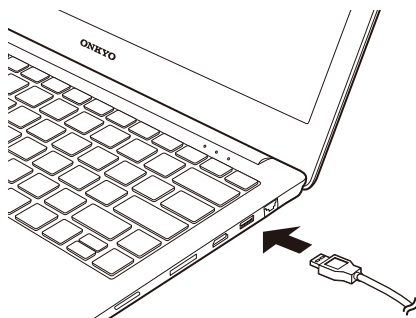
USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

接続時の注意事項

・接続前に、デバイスドライバーのインストールが必要なUSB機器があります。
・ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
・本機には、複数のUSBポートを用意しています。どのUSBポートを使用しても構いません。
・USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

1. 本機のUSBポートに、USB機器のケーブルを差し込みます。

USB機器の認識音が鳴ります。これでUSB機器が使えるようになります。

接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。

・認識されないときは、USBポートからコネクターを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでみてください。
・USB機器に、Windows 8.1対応のデバイスドライバーが付属されていない場合、USB機器をWindows 8.1で使うための専用デバイスドライバーが別途必要になります。
・次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。
・異なるUSBポートにUSB機器を接続すると、【新しいハードウェアの検索ウィザード】が表示される場合があります。その場合は、設定を再度おこなってください。

アプリケーションソフトの使用（例：Webカメラを使用するには）

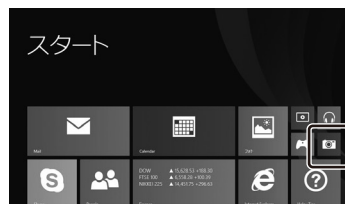
アプリケーションソフト（アプリ）の使用方法を、本機にストアアプリとして搭載されている
Webカメラアプリの使用を例にとって説明します。

Webカメラを使用するには

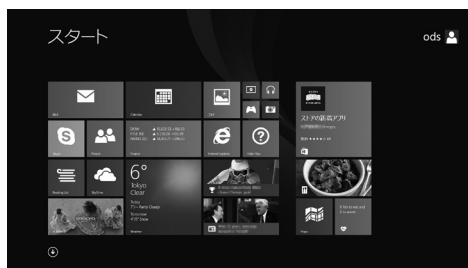
Webカメラを起動します。

1. **「モダンUI画面」に表示されているカメラタイル をクリックします。**

Webカメラとカメラアプリが起動します。

右クリックすると、
アプリコマンドが現れます。

Webカメラを終了する

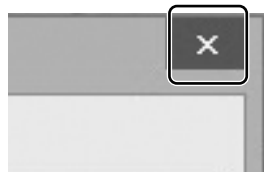
画面上部にマウスポインタを置き、ポインタが になったら、画面の下までドラッグします。

Webカメラ機能が終了し、スタート画面に戻ります。

「モダンUI画面」にタイルが表示されるアプリは、**ストアアプリ**と呼ばれます。
ストアアプリ以外のアプリは、**デスクトップアプリ**と呼ばれます。

ストアアプリを終了するときは

ストアアプリを終了するときは、画面上部にマウスポインタを置き、ポインタが になったら、画面の下までドラッグします。

デスクトップアプリを終了するときは

アプリの右上にある × をクリックします。

KINGSOFT Officeの使用

本機にプリインストールされているKINGSOFT Office(永続版)をはじめて使用する際は、以下の手順で「シリアル番号」を入力してください。「シリアル番号」は、付属の「キングソフトオフィス ライセンスカード」に記載されています。

本機のKINGSOFT Officeはマルチライセンス対応です。お手持ちのスマートフォンやタブレット端末で、ライセンスカード記載のQRコードまたはURLからアクセスし、同じシリアル番号を入力すれば、「KINGSOFT Office for Android」や「KINGSOFT Office for iOS」も無料で使用できます。

KINGSOFT Officeを使用するには

1. **デスクトップ画面に表示されている、KINGSOFT Officeのいずれかのアイコンをダブルクリックします**

シリアル番号の入力は、いずれかをはじめて使用するときの1回だけです。

PowerPoint 互換

Excel 互換

Word 互換

2. **【文書のユーザー情報】ウィンドウが表示されます。**

「OK」をクリックします。

3. **【シリアル管理】ウィンドウが表示されます。**

「追加」をクリックします。

4. **【シリアル番号を入力します】ウィンドウが表示されます。**

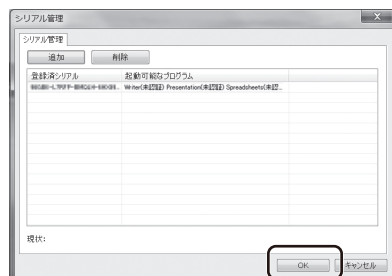
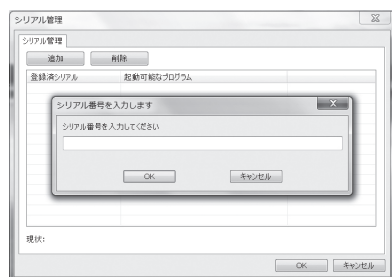
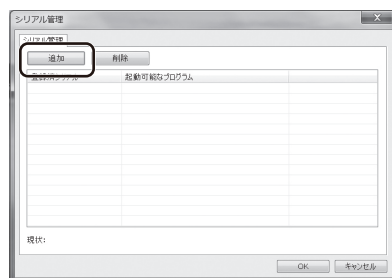
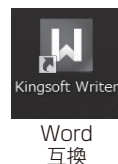
付属の「キングソフトオフィス ライセンスカード」に記載のシリアル番号を入力し、「OK」をクリックします。

5. **【シリアル管理】ウィンドウに戻ります。**

「OK」をクリックします。

シリアル番号登録後、デスクトップ画面にあるKINGSOFT Officeの各アイコンをダブルクリックすることで使用開始できます。

・「シリアル管理」の画面でシリアル番号入力直後は「未認証」と表示されますが、再起動後「有効」に変わります。
・一度シリアル番号の登録をしたあとは、アプリケーションの使用ごとにシリアル番号を入力をする必要はありません。

トラブルの対応

おかしいなと思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください。
トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。すぐに電源を切ったり、むやみにマウスのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

☞「よくある質問集」
パソコンの電源がONにならないなどの「故障かな」と思うような問題が発生した場合に、まずは確認してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」
本書以外にも、当社Webサイト「オンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフト サポート オンライン」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。Windows 8.1 およびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

☞「リカバリーの準備」（本書）、「リカバリーの方法」（本書、セットアップガイド）
本機をご購入時の状態に戻します。（この作業をリカバリーといいます）
リカバリーの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

4 オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡しましょう

以上の方法でどうしても解決できないときは、オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡してください。
お電話の前に、セットアップガイドの「修理のお申込み」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebサイトおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■ 問合せ窓口一覧
（デスクトップ画面上の［ONKYO 問合せ窓口一覧］アイコンをダブルクリック）

当社への問合せ先、および各種アプリケーションソフトの問合せ先を掲載しています。

■ マイクロソフト サポート オンライン

（ http://support.microsoft.com/ ）

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。

■ オンキヨーPCオンラインサポート

（ http://pc-support.jp.onkyo.com/ ）

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨーPCカスタマーセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。

よくある質問集

本機の電源をONにしても、Windowsが正しく起動しないとき、まずはここに記載している項目を確認してください。

1 パソコンの電源はONになりますか?

●ONになりません（☞次ページ以降を参照）

ONになります

2 Windowsは起動しますか?

●セーフモードで起動します
●起動しません
（☞次ページ以降を参照）

正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか?

●表示されますが、正常ではありません
●セーフモードで表示されます
（☞次ページ以降を参照）

正常に表示されます

4 マウス・キーボードは正常ですか?

●正常ではありません
（☞次ページ以降を参照）

正常に動作します

その他、Windowsの操作中におこるトラブルや質問は、・・・・
オンキヨーPCカスタマーセンターまでご連絡ください。

パソコンを起動する前に

Q.1 海外のコンセントに接続して使用できるか

A. ・AC電源が100V～240Vまでの間であれば使用できます（プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要）。必ず付属のACアダプターを使用してください。
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

Q.2 電源スイッチを押しても動かない

A ・ACアダプターは正しく接続されていますか？
ACアダプターのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプターの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。

・バッテリーは十分に充電されていますか？
ACアダプターを接続して、バッテリーを充電してからご使用ください。

・ACアダプターが故障している可能性があります。
他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプターが故障している可能性があります。オンキヨーPCカスタマーセンターへお問い合せください。

・本機が故障していることがあります。
オンキヨーPCカスタマーセンターへお問い合せください。

Q.3 画面に何も表示されない

A ・本機の電源はONになっていますか？
本機の電源スイッチをONにしてください。

・表示モードの設定が外部ディスプレイになっており、外部ディスプレイの電源がOFFになっていませんか？
本機の電源をONにし直してから再度、外部ディスプレイの電源スイッチをONにしてください。

・起動およびスリープ/休止状態からの復帰に、時間がかかっている可能性があります。

Q.4 周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しない

A ・周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windowsが起動できなくなった可能性があります。本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q.5 終了できない

A ・電源スイッチを4秒以上長押しすることにより強制終了することが可能です。
（このようなケース以外は、故障の原因になりますので、電源スイッチを4秒以上長押しすることによる強制終了はおこなわないでください。）
・ひだり面のリセットスイッチをピンなどで押すことで、電源をOFFにできます。
電源スイッチの長押しでも終了できない場合は、ひだり面のリセットスイッチを押して電源をOFFにします。

パソコンを使っていたら

■ 画面上のトラブル

Q.6 表示される日付や時刻が正しくない

A. ・日付や時刻が間違った設定になっていませんか？
Windowsのタスクバーの時刻をクリック→「日付と時刻の設定の変更」→［日付と時刻の変更］ボタンをクリックして【日付と時刻の設定】ダイアログを起動します。
【日付と時刻の設定】ダイアログで正しい日付や時刻を設定してください。

・本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。
マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、オンキヨーPCカスタマーセンターに修理依頼をおこなってください。

Q.7 日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A. ・電池が容量切れになっている可能性があります。
日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。
電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、オンキヨーPCカスタマーセンターに修理依頼をおこなってください。

■ ディスプレイのトラブル

Q.8 いきなり画面が消えた

A. ・ディスプレイの電源が切れた可能性があります。
本機をしばらく操作せずにいると、画面表示が消える設定になっております。マウスやキーボードを動かしてください。

・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。
画面表示が消えた後、さらに時間が経過すると、スリープモードになります。
電源ボタンをONにしてください。

・ACアダプターのプラグが電源コンセントから外れていませんか？
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・バッテリーが充電されていない可能性があります。
バッテリーを十分に充電してください。

Q.9 画面表示にムラがある

A. ・ディスプレイを見やすい角度に調整してください。
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。
ムラがあるのは故障ではありません。

■ タッチパッド、マウス、キーボードのトラブル

Q.10 マウスポインターが動作しない

A. ・タッチパッドの機能がOFFになっている可能性があります。
[Fn]キーを押しながら[F1]キーを押して、タッチパッドの機能をONにしてください。

・市販のマウスやキーボードを接続した場合､接続ケーブルが外れている可能性があります｡
接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。

・市販のマウスやキーボードを接続した場合、本機の電源をONにしたあとにマウスを接続している可能性があります。
一度パソコンの電源をOFFにしてマウスを接続した後、パソコンの電源をONにしてください。

・適正なマウスドライバーを使用していない可能性があります。
市販のマウスを使用する場合は、専用のマウスドライバーが必要なものがあります。
使用するマウスに付属のマウスドライバーを正しくインストールしてください。

Q.11 キー入力中に突然カーソルが別の場所に移動してしまう

A. ・タッチパッドの表面付近では､小さな反動でもカーソルが移動してしまうことがあります｡
親指がタッチパッドの表面付近にあるときなど、タッチパッドの表面のタッピング機能が反応することがあります。

Q.12 タッチパッドを使用したとき、マウスカーソルの動きが悪いことがある

A. ・タッチパッドの表面が埃や汗などによって汚れていると、このような現象が発生することがあります。
清潔な布などで、タッチパッドの表面の汚れをふき取ってからご使用ください。

Q.13 デバイスマネージャー上で日本語106（109）キーボードが、英語101（102）キーボードと表示されてしまう

A. ・この現象は、Windows 8.1 のシステムがプラグアンドプレイでキーボードを認識する際に、英語101/102キーボードが指定されているために発生します。
回避策として、次の方法を試してください。デバイスマネージャーから、次の手順で日本語106/109キーボードに変更します。

①画面下のタスクバー左にある マークを右クリックしして表示される機能管理メニューから、「設定」→［コントロールパネル］→［コンピューターの簡単操作］→［キーボードの動作の変更］を選択して【キーボードを使いやすくします】ダイアログを表示します。
②ダイアログ下部の「キーボード設定」をクリックして、【キーボードのプロパティ】ダイアログを表示します。
③［ハードウェア］タブを選択し「101/102英語キーボード」の項目をダブルクリックします。
④［設定の変更］ボタンをクリックします。
⑤［ドライバー］タブを選択し、［ドライバーの更新］を選択します。
⑥「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。
⑦「コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します」を選択します。
⑧「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外します。
⑨「モデル」欄から「標準PS/2キーボード」を選択して、［次へ］ボタンをクリックしてください。
⑩［閉じる］ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

Q.14 押したキーと違う文字が表示される

A. ・ CapsLock 、ひらがな / カタカナ などが間違って押されていませんか？
目的の文字がタイプされるように CapsLock 、ひらがな / カタカナ キーを押してください。

・キーボードのドライバーは適正なものですか？
キーボードのドライバーがお使いのキーボードに対応したものではない可能性があります。キーボードのドライバーを更新してください。

・ NumLk キーがロックされていませんか？
NumLk キーがロックされている時は、キーボードの一部がテンキーとして動作します。テンキー機能を使用しない時は、Fn ＋ NumLk キーを押し、ロック状態を解除してください。

Q.15 テンキーが入力できない

A ・テンキーが無効になっている可能性があります。
Fn ＋ NumLk キーを押し、テンキーを有効にします。

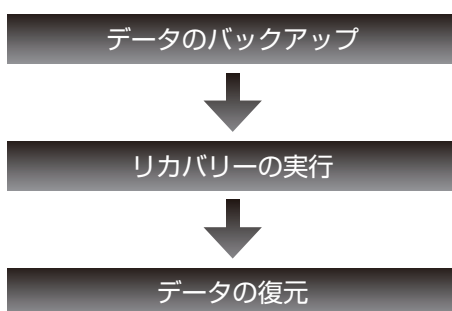
リカバリーについて

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスク（またはSSD）の内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーの準備

使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスク（またはSSD）のデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

本書では、リカバリーの実行前に、個人で作成したデータをバックアップする方法と、リカバリー後にバックアップしたデータを復元する方法を説明します。

データのバックアップ

ここでは、Internet Explorerやユーザー辞書の設定などのデータを、外部メディアにバックアップする方法を説明します。

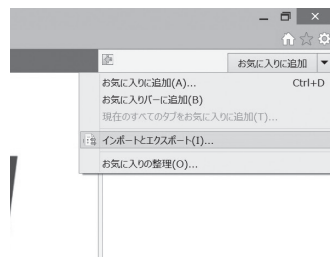
お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。

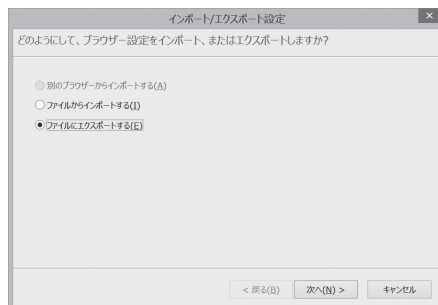
・「Windows 8.1の標準メール」はインターネット上のサーバーにデータが保存されているため、データのバックアップは必要ありません。リカバリーを実行した後に、再度アカウント設定をするとデータが読み込まれます。
・「Windows 8.1の標準メール」以外をご利用の場合、バックアップ方法はメールソフトの取扱説明書などをご参照ください。

■『お気に入り』のバックアップ

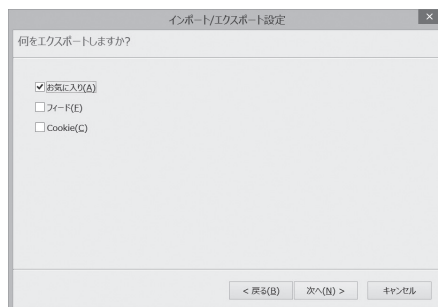
Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを作成します。

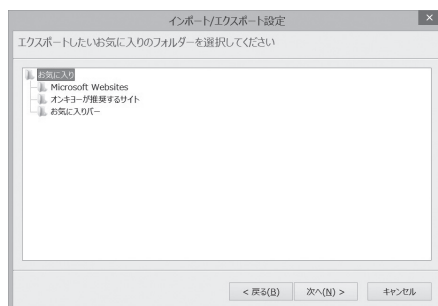
1. Internet Explorerが起動した状態で、☆ボタンをクリックし、[お気に入りに追加]の▼をクリックして表示されるメニューから［インポートおよびエクスポート］を選択します。

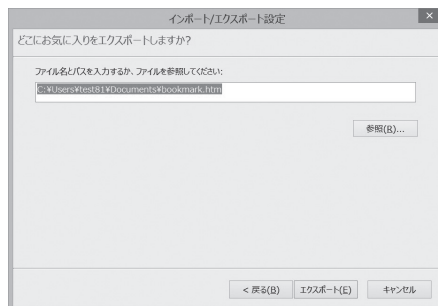
【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

2. **［ファイルにエクスポートする］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

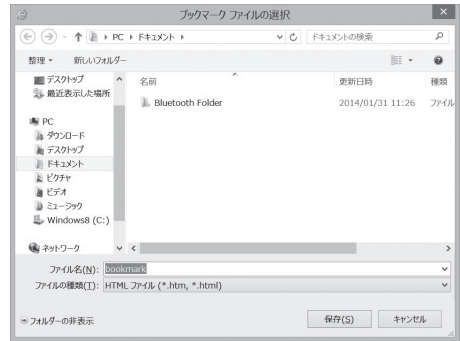
【何をエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **［お気に入り］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

【お気に入りのエクスポート元フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

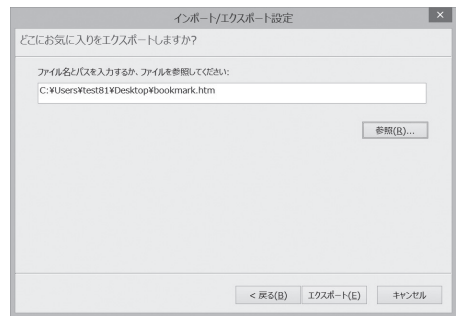
「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをエクスポートできます。

4. **「お気に入り」フォルダーを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

5. **［参照］ボタンをクリックします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

6. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。**

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログに戻ります。

7. **[エクスポート] ボタンをクリックします。**

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、[次へ] ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順5〜6と同じです。

終了すると、【これらの設定を正しくエクスポートしました】ダイアログが表示されます。

8. **[完了] ボタンをクリックします。**

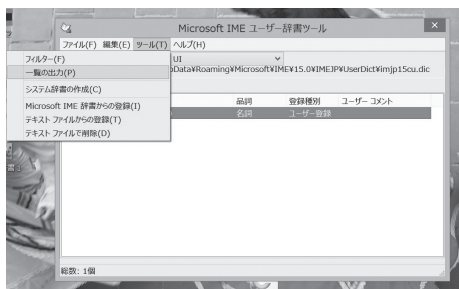
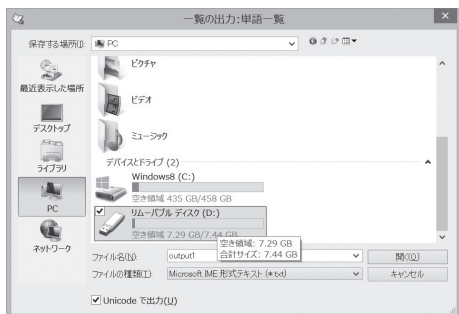
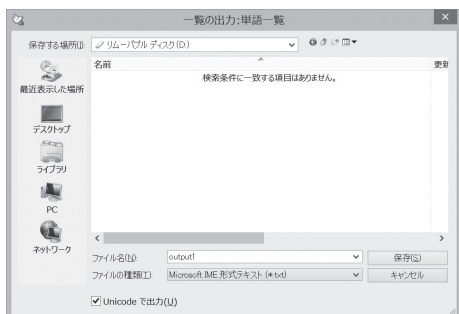
以上で『お気に入り』のバックアップは完了です。

■ ユーザー辞書のバックアップ

現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

1. **画面下のタスクバー右にあるIMEアイコン（「A」もしくは「あ」と表示されている部分）を右クリックし、「ユーザー辞書ツール」をクリックします。**

「Microsoft IME ユーザー辞書ツール」が表示されます。

2. **「ツール」→「一覧の出力」をクリックします。**
「一覧の出力：単語一覧」ダイアログが表示されます。

3. **「PC」をクリックし、表示される一覧から外部記録メディアを開きます。**

4. **任意のファイル名を入力して、「保存」ボタンをクリックします。**
「一覧の出力を終了しました」ダイアログが表示されます。

5. 「終了」ボタンをクリックします。

ファイル名は必ず変更してください。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。

・お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。

以上のバックアップが終了すれば、リカバリーをおこなってください。

データの復元

ここでは、あらかじめ、リカバリーをおこなった後に、アプリケーションソフトや「データのバックアップ」で保存しておいた各データを復元する方法を説明します。

■ アプリケーションソフトの設定

リカバリーをおこなうと、アプリケーションソフトは自動的に工場出荷時状態へ復元されますが、必要に応じて、アプリケーションソフトを再インストールしてください。
本製品に付属のアプリケーションソフトは、「ONKYO問合せ窓口一覧」の「※再セットアップについて」からインストールします。

1. **デスクトップにある、「ONKYO問合せ窓口一覧」アイコンをダブルクリックします。**
【ONKYO問合せ窓口一覧】が起動します。

2. **左側の［※再セットアップについて］をクリックします。**

3. **表示される一覧から、復元するアプリケーションソフトの横にある●をクリックします。**

4. **画面の指示にしたがってインストールをおこないます。**

本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。

■ バックアップしたファイルを復元する

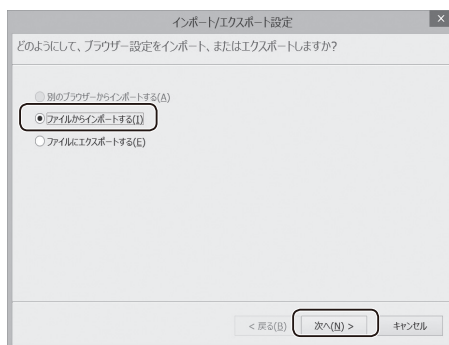
あらかじめ外部メディアに保存しておいた、デスクトップや「ドキュメント」フォルダーにあったデータを、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

■ 『お気に入り』を元に戻す

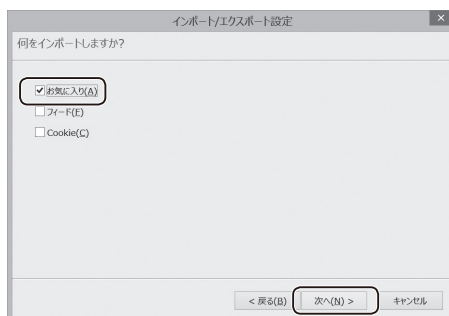
Internet Explorerの『お気に入り』を復元します。

1. **Internet Explorerが起動した状態で、☆ボタンをクリックし、お気に入りに追加 ▾ の ▾ をクリックして表示されるメニューから［インポートおよびエクスポート］を選択します。**
【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

2. **［ファイルからインポートする］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

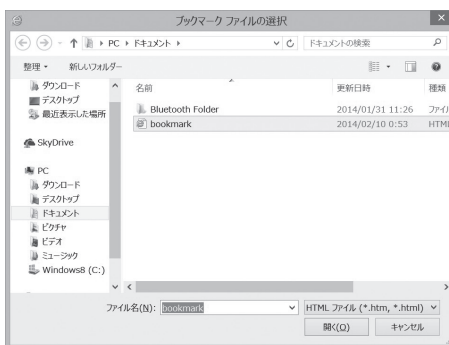
【何をインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **［お気に入り］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

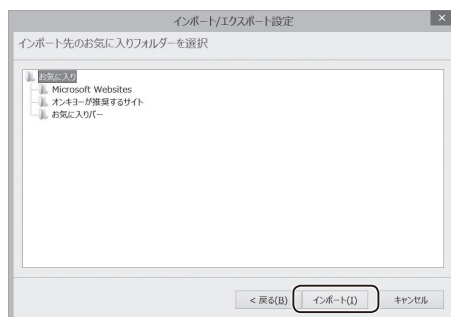
「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをインポートできます。

4. **［参照］ボタンをクリックします。**

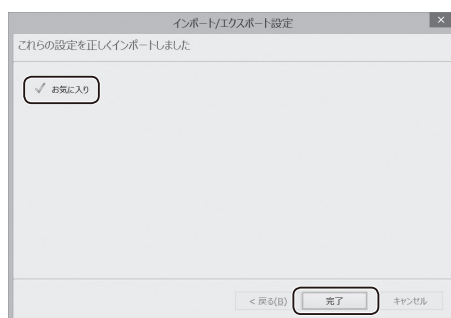
【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

5. **バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログに戻ります。

6. **［次へ］ボタンをクリックします。**

【お気に入りのインポート先フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、［次へ］ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順4〜6と同じです。

7. **「お気に入り」フォルダーを選択して、［インポート］ボタンをクリックします。**

終了すると、【これらの設定を正しくインポートしました】ダイアログが表示されます。

8. **［完了］ボタンをクリックします。**

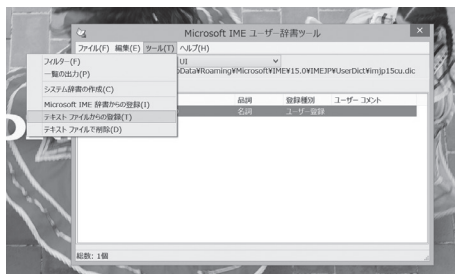
以上で『お気に入り』の復元は完了です。

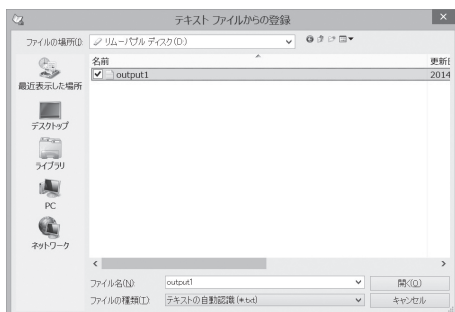
■ ユーザー辞書の復元

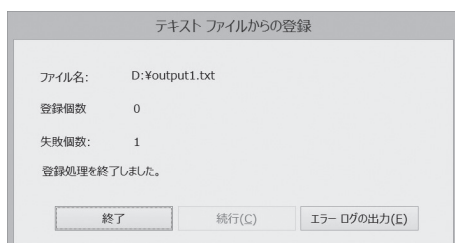
ユーザー辞書を、次の手順で復元します。

1. **画面下のタスクバー右にあるIMEアイコン（「A」もしくは「あ」と表示されている部分）を右クリックし、「ユーザー辞書ツール」をクリックします。**

「Microsoft IME ユーザー辞書ツール」が表示されます。

2. **「ツール」→「テキストファイルからの登録」をクリックします。「テキストファイルからの登録」ダイアログが表示されます。**

3. **「PC」をクリックし、表示される一覧から外部記録メディアを開きます。**

4. **バックアップをとったユーザー辞書ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。「登録処理を終了しました」ダイアログが表示されます。**

5. **［終了］ボタンをクリックします。**

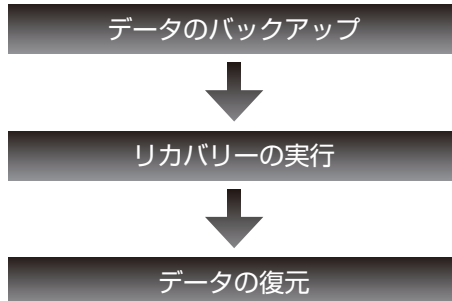
以上でバックアップの読み込みは完了です。

リカバリーの方法

ハードディスク（またはSSD）内にあるリカバリー領域を使用して、パソコンを復旧します。
リカバリーを実行すると、ハードディスク（同）のお客様のデータはすべて消え、工場出荷時の状態に戻ります。消えたデータは復旧できませんので、あらかじめハードディスク（同）のデータのバックアップをとってからおこないましょう。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスク（またはSSD）の内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスク（同）のデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

注 意

- **リカバリーを実行するときは、必ず本機にACアダプターを接続してください。リカバリーの実行中にバッテリーが切れると、Windowsのデータが破損する恐れがあります。**
- **リカバリー中は、電源を切らないでください。または、リカバリーは途中で中止しないでください。**

リカバリーの手順

本製品にプリインストールされているWindows 8.1は、ハードディスク（またはSSD）リカバリーができます。ハードディスク（同）リカバリーは、以下の手順にしたがっておこなってください。

1. **「チャームバー」→「設定」をクリックします。**

「設定」メニューが表示されます。

2. **「PC設定の変更」→「保守と管理」をクリックします。**

【保守と管理】画面が表示されます。

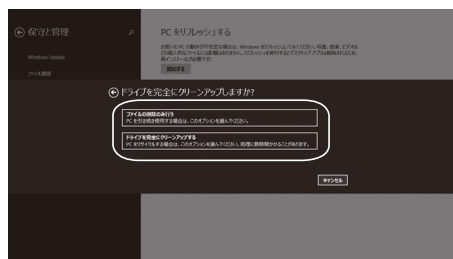
3. **［回復］をクリックして表示される画面で「すべてを削除してWindowsを再インストールする」の［開始する］をクリックします。**

【PCを初期状態に戻す】ダイアログが表示されます。

4. **［次へ］をクリックします。**

【ドライブを完全にクリーンアップしますか？】
ダイアログが表示されます。

5. **「ファイルの削除のみ行う」または「ドライブを完全にクリーンアップする」をクリックします。**

【PCを初期状態に戻す準備ができました】ダイアログが表示されます。

・「ファイルの削除のみ行う」を選択すると、短時間でリカバリーを完了します。
・「ドライブを完全にクリーンアップする」を選択すると、ハードディスク（またはSSD）からファイルを完全に削除するためセキュリティは高まりますが、リカバリーに数時間かかる場合があります。その間、画面に「ONKYO」ロゴが表示され続けますが、決して電源を切らないでください。

6. **［初期状態に戻す］をクリックします。**

リカバリーが開始されます。

リカバリーが完了すると、Windows 8.1のセットアップ画面が表示されます。

BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアッププログラム」の操作概要について説明します。BIOSの詳しい操作方法については、デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをクリックし、参照してください。

・デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをクリックし、参照してください。

BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。

BIOSとは

″BIOS″とは「Basic Input Output System」の略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態でBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。

BIOSセットアッププログラムの起動方法（概要）

BIOSセットアップの詳しい操作方法については、BIOSセットアップマニュアルを参照してください。デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをクリックし、参照してください。

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

2. **″ONKYO″ のロゴが入った画面が表示されたら、すぐに F2 キーを押します。**

しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。

ONKYO

Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF（シャットダウン）にして再度上記手順をおこなってください。

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

キー	操作
← → キー	・メインメニューの項目を左右に移動する
↑ ↓ キー	・項目を上下に移動する ・設定値を変更する
Enter キー	・サブメニューへ移動する ・項目選択時、別ウィンドウを開く/閉じる
Tab キー	・次項目へジャンプする
Esc キー	・BIOSセットアッププログラムを終了する ・前メニューに戻る（サブメニューの場合） ・ウィンドウを閉じる（別ウィンドウが開いている場合）

保証とアフターサービス

保証書

●この製品には別途保証書が付属されていますのでお確かめください。
●保証書にある保証規定をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後3年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

サポートサービス

●オンキヨーPCカスタマーセンターでは、製品をご購入いただいたお客様からの技術的なご質問や、修理のお申し込みを受け付けています。修理の場合、お問い合わせの前に、☞別冊のセットアップガイドの「修理について」もご覧下さい。

オンキヨーPCカスタマーセンター

0570-001134

9:30〜18:00(土日祝祭日、当社指定休業日を除く)
(システムメンテナンスのため受付を休止させていただく場合があります。)

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※一部のPHS、IP電話からかけられない場合がございます。その場合は、お手数ではございますが固定電話でおかけ直しください。
※電話番号は、おかけ間違いのないようご注意ください。

0570-001134(ナビダイヤル)に電話します。
電話回線の確認をおこないます。音声ガイダンスに従い ✻(こめ)と 1 をプッシュします。

プッシュ回線

ご購入後30日以内のハードウェアの不具合、付属品の不足などの場合、3 をプッシュします。

ご購入後1年以内の場合は 2 をプッシュします。(無償サポート)

ご購入後1年を越える場合は 1 をプッシュします。

1 有償サポート

製品をご購入1年を超える場合には、有償にてサポートを承ります。

修理をご希望のお客様は 1 をプッシュします。

有償サポートをお申込みのお客様は 2 をプッシュします。

有償サポートご利用料金:
お問合せ1件 2,500円(税込)

ダイヤル回線

ダイヤル回線の場合、電話機をプッシュ回線に切り替えてください。変更できない場合そのままお待ちください。

オペレータに電話がつながります。
保証書をお手元にご用意ください。

オペレータから、以下の情報をお伺いします。
・製品名
・製造番号(Serial No.)
・お買い上げ年月日
・ご購入店名

お困りの点についてお伝えください。
診断の結果、緊急修理、欠品付属品送付等を含むサポート対応をさせていただきます。

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用かで、廃棄方法が異なります。

■ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

当社は、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。
事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1.事業系のお客様(事業者)が、事業系パソコンリサイクル窓口へ直接依頼。
2.全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3.リサイクルセンターへの運搬。
4.リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、次のWebサイトにてご案内しております。

事業系パソコンリサイクル窓口 一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

■ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、当社専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。

対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」をご参照ください。

・パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社Webサイトでも紹介しております。ぜひご覧ください。
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/
・同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(http://onkyodirect.jp/pc/used/)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

■ 回収の仕組み

家庭/個人から排出

お申込み

【家庭系パソコンリサイクル窓口】
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

PCリサイクル マークあり / PCリサイクル マークなし

（マークなしの場合）
輸送にて、リサイクル費用支払い用紙が到着

支払い
リサイクル費用※の支払い
（コンビニエンスストア･郵便局）

伝票受取
「エコゆうパック伝票」到着
PC梱包時の注意事項※を確認し、エコゆうパック伝票を添付。

回収
「エコゆうパック」にて回収
「お客様持込」または、「戸口集荷」

再資源化
再資源施設へ
排出品の郵送状況は、ゆうびんホームページ（http://www.post.japanpost.jp/）で、「エコゆうパック伝票」のお客様控えに記載されているお問合せ番号を検索して調べられます。

事業者から排出

お申込み

【事業系パソコンリサイクル窓口】
一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

料金体系や周辺機器などの個別条件につきまして、上記のWebサイトにてご案内しております。

■ リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

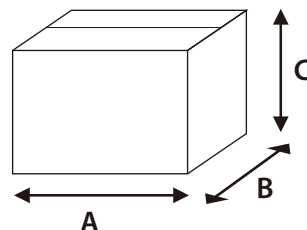
回収対象商品	回収･再資源化料金（本書作成時、税別）
ノートブック型パソコン	3,000円
デスクトップ型パソコン	3,000円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,000円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,000円
液晶ディスプレイ	3,000円
CRTディスプレイ	4,000円

※お支払い時には税、各種振込手数料が発生します。予めご了承ください。

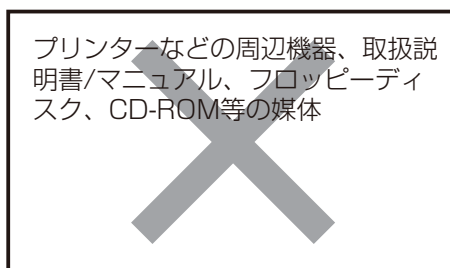
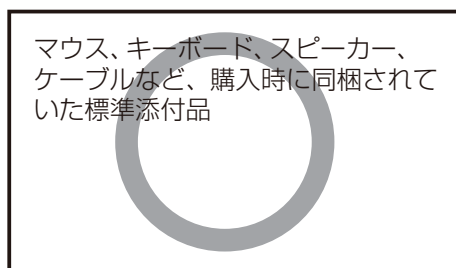
■ PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■簡易な梱包で構いませんが、輸送途中で破損、飛散しないように注意してください。
■無梱包での輸送はできません。

◎梱包する際の条件は以下の通りです。
・ダンボール箱（もしくは破れにくい袋）
・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
・A+B+Cの長さ＝1.7m以内

<条件を満たさない場合>
梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、リサイクルセンター受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱（もしくは袋）に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

■ 回収時の条件（回収規約）

オンキヨー製パソコンまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約（http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/images/20111107.pdf）をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

■ 家庭系パソコンリサイクル（お申込み）窓口

インターネットからのお申込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

■ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（平成三年四月二十六日法律第四十八号）第二十六号に基づく「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」（平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号）第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】
市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピューターの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。
- ●市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- ●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- ●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局（簡易郵便局を除く）へ持ち込むことにより、弊社は使用済パーソナルコンピューターを引き取ります。

注）製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。
※　回収再資源化料金については、「リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金」をご確認ください。

■ 廃棄・譲渡時のハードディスク（またはSSD）上のデータ消去に関するご注意

パソコンの中のハードディスク（またはSSD）という記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク（またはSSD）内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合に、一般に
- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作をおこなう
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化（フォーマット）する
- ・ハードディスク（またはSSD）のリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク（またはSSD）内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータが見えなくなっているだけという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っている状態です。

従いまして、特殊なデータ回復のためにソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意ある人により、このパソコンのハードディスク（またはSSD）内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

お客様がパソコンの破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク（またはSSD）上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスク（またはSSD）に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク（またはSSD）上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク（またはSSD）上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認をおこなう必要があります。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　（　　）

メモ：

オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社
〒107-0062　東京都港区南青山3丁目1番7号　青山コンパルビル

P1410

DC01-N1186-04A